

進路ニュース

大阪府立なにわ高等支援学校

進路指導部 No. 3

平成30年12月20日

3年生 最後の現場実習を終えて

年末となり、この冬の最低気温が更新される寒い日が増えてきました。

3年生は、10月22日(月)から11月2日(金)までの10日間、現場実習がありました。それぞれ目標や課題を意識して、1年生から通算すると7度目で学年全体での最後の実習を行いました。

実習後、早い人は事業所との面接も終え、内定や内々定となる人も出てきていますが、これから最終面接に行く人、更に現場実習に行く人など、個々に様々であるのが今の3年生の状況です。

今後は、1月以降に、事業所への就職が決まった人から個別に「移行支援会議」を行っていき、卒業後にも就業・生活支援センターなどの公的機関から支援が受けられる体制を整えます。

3年生後期現場実習の感想・反省より



《販売》

今回の実習は、農産品の加工と品出しなどをやりました。午後からは、飲料水の前出しと加工食品の品出しなどをしました。飲料水では、足りていない商品を出して行くことを考えて取り組みました。初めての朝一セールの商品出しと整理などは分からず戸惑いましたが、農産のチーフさんが色々教えてくださいました。



《調理補助》

初日の作業内容は、午前に野菜の皮むきや食器の洗い物、片付けをしました。2日目の作業内容は野菜のカット、料理の盛り付け、食器等の洗い物と焼きなすを並べる作業をしました。ピーラーで指を切ってしまった日があったので、テンポアップしていても安全面を意識することが大切だと思いました。また、職場内はいつも明るくて、忙しい時間帯は、集中してお皿の音だけ聞こえる時もあり節度ある厨房でした。どんな作業も丁寧かつスピーディーに取り組めるように、専門の授業や家庭やその他の所で、意識してできるようにしたいと思います。

《調理補助》

今回は、前提実習という体験実習より厳しいので気合を入れていました。実習中は、主にキャベツをばらしたり、オーダーを出したり、皿洗いをしたりなどです。お客さんの合計総人数が60人以上で来るのもっとあせ焦りました。実習が終わり、達成感がありましたがちょっと悲しいなと感じてしまい心細かったです。



《就労移行支援事業所》

2週間の実習で1番印象に残っていることは、店舗で働く上で必要な接客・接遇についてというプログラムです。接遇5原則という、1挨拶・返事、2表情、3姿勢・動作、4身だしなみ、5言葉遣い、という5原則を学びました。また、実際に働いている人にインタビューしに行った時に学んだことは、『無理をしない』『しんどくなったら相談する』『いままで学んだことは絶対に無駄にはならない』とかたくさんのおしことを教えてもらいました。



《事務補助》

1日目は、マナー講座やルールについての説明を聞きました。ポスターを印刷する機械もあってすごかったです。2日目は構外清掃をしました。指示された事を忘れないように、目標にメモをしっかりとって復習することを決めました。指示された事を全部書くことで全体の流れが分かり、聞きもらしが減りました。まとめのノートのおかげで、難しかった名刺作りも分りやすく作成でき、一人でできるようになり達成感がありました。スピードは早くミスをするより、ゆっくりでミスが無いほうが良いと言われたので、確認に時間を取ったり、あらかじめ対策をしたり、よく確認することが大切だなと思いました。



こよう かん 【雇用に関するトピック】

●大阪府の最低賃金が936円に引き上げられました。

平成30年10月1日より、大阪府の最低賃金が27円引き上げられ1時間あたり936円となりました。最低賃金とは、使用者(企業)が労働者に支払わなければならない最低限の賃金のことです。時間給だけでなく、月給、日給であってもこの額を下回ることは基本的にできません。最低賃金は、兵庫県で871円、奈良県では811円と都道府県ごとに異なります。

しょう しゃこようりつせいど ●障がい者雇用率制度について

企業や国、地方公共団体は、雇用している労働者のうち一定の割合(法定雇用率)以上の障がい者を雇用する義務が法律で定められています。平成29年度全事業所の雇用率は1.97%に留まっています。常時雇用している労働者数が100人を超え、法定雇用率に満たない企業等は障害者納付金を支払う必要があります。法定雇用率は5年で見直されることになっており、民間企業では平成30年4月より2.2%に引き上げられました。

1年生 生徒向け研修会「先輩の話」を聞く会



昨年就職した先輩や難波支援学校の先輩を招き、企業で働くことによる喜びや大変さ、学生時代に身につけておかなければならないことなど、体験談を交えて話していただきました。

講師の先輩方はみんな、入社後体調不良で1日か2日休んだ日があっても、その他は休み無く働いているということでした。やはり、学生の時とは違い給料をもらっているという責任があるということ、また働きだすと疲れから早く寝るようになり、生活リズムが身についていったことなど話してくれました。どの先輩の話にも共通していたことは、働き出して職場で困ったことや悩みがあったらすぐに相談することが大切だということでした。会社の上司や同僚、支援センターの方など相談できる人間関係を築いていくこと、また、学生時代からそういった人間関係を築いて、自分から相談できる力を身につけていくことが働き続けていくためには大切だと話してくれました。

生徒たちは、先輩の話聞き逃してはいけないと集中して話を聞き、メモの用紙に一生懸命メモを取っていました。感想文を読みますと、身近な先輩の社会人としての姿がとても良い刺激になったようで、実習や学校生活をがんばっていきたいと思ったという感想が多かったです。

講師 株式会社 ユー・エスジェイ H30入社 あいおいニッセイ同和損保株式会社 H30入社
ヤンマーシンビオシス株式会社 H30入社 無添くら寿司 菅原店 H30入社
ヒューマンライフケアよどがわ乃湯 H28入社 以上5名の方



1年生『先輩の話』を聞く会』の感想より



自分自身も人間関係(友達関係)がうまくいってなくて、今のまま仕事をしたら人間関係がうまくいかないまま仕事をするようになってしまうので、そうならないよう学校生活でできるようにしていきたいと思えます。

話を聞いて、やはり人間関係、コミュニケーション、笑顔が大切なんだなと思いました。また、初めて職場に行ってお客様にあいさつした時、笑顔で返してもらって嬉しかったとお話されていましたが、自分も学校生活の中でそのように嬉しいと感じる場面があるのでその事を大切にしていこうと思いました。

学生の時にがんばっておけば良かったなと思うことは、自分の障がいと向き合うという人もいたけど、やっぱり日頃先生が言っている『あいさつ』『言葉遣い』をしておけば良かったと言っている人が多かったので『あ～やっぱりそうなのか』と思いました。他に、社会に出て大変だったことは人間関係や言葉遣いが大変だったと言っていたので、自分も『人間関係』が課題だなと思ったので、学生の内に直せたらと思いました。

・感情のコントロールが必要ということを知り、もっと僕も感情を上手くできないとなと思いました。そして、あらためて感情のコントロールやコミュニケーションが大切だと思いました。また、自分の障がいを知り、自分の障がいと向き合うことが大切と聞いて、確かに僕も自分の障がいを知っていかないといけないなと思いました。それをすることで、自分のできないことを他の人に伝え、自分のできる仕事を積極的にできると思いました。

・失敗しても報告・謝罪をすることが大切ということがすごく良かったと思いました。自分は怒られると言いつつ、謝罪をすることが多く、このことを聞いてすごく良かったです。1番印象に残ったことは、不安になった時に職場の人や上司や支援センターの人に相談することです。自分も不安になることが多いのですが、それを聞いて参考になりました。

・私は5つの会社の話を聞いて、どの方も共通点があって、休みをしないこと、仕事が好きということが分かりました。ユー・エス・ジェイでは笑顔が大切と言っていて、当たり前になっていた笑顔や接客の裏はすごく大変で、日々がんばっているんだとスタッフさんの印象が変わりました。話を聞いて、私もちょっとはやる気ができました。これからの実習も最後は楽しいと終わるようにがんばっていきなさいと思います。お客さんに『ありがとう』と言ってもらえるような仕事をしていきます。

・困った時に相談できる人がいるかが、どれだけ大切なことなのか分かりました。

・苦手なことはそのままにせず、できるようにならないなと感じました。

・話を聞いて自分がそうだなと感じたことがあり、「自分で考え、動く」ということが、どの実習に行っても大事だと思いました。

・困ったときに頼れる人を見つけようと思いました。

12月・1月の進路行事予定



日付	1年	2年	3年
12/20 (木)		事前指導①	<p>1月以降、個別に移行 支援会議（参加者：本人、担任、保護者、就業生活支援センターなど）を行います。 詳細は後日連絡します。</p>
12/21 (金)	事前指導①		
1/8・9	検便提出期限		
1/10 (木) ～	事前面接[～15(火)]	事前面接[～17(木)]	
1/25 (金)	事前指導②	事前指導②	
1/28 (月) ～	現場実習[～2/1(金)]	現場実習[～2/8(金)]	
2/4 (月)	事後指導		
2/12 (火)		事後指導	

